

SME日本支部 創立55周年を祝して

2015 SME International Honor Award を受賞して



稲葉 善治
ファナック株式会社
代表取締役会長兼CEO

SME 日本支部、創立 55 周年、誠におめでとうございます。55 年の長きにわたり支部の運営に努力されてこられた関係者の皆様に敬意を表すと共に、これからも長く日本の生産技術の発展に貢献されることを期待申し上げます。

今から 2 年半前になりますが、私は 2015 年 6 月 1 日にアメリカデトロイトで行われた SME の総会において、Eli Whitney Productivity Award を授与される栄誉を賜りました。この受賞は、ファナックが創業以来 60 年にわたり製造業の自動化・ロボット化に特化して企業活動が続けてきた成果に対する評価として、大変光栄に存じております。また、参加して、製造業を振興するための多岐にわたるプログラム、そして製造業にかかわるエンジニアたちの幅広い交流などに触れ、改めて SME の活動に大きな感銘と新たな刺激を受けました。個人的には、駆け出しのエンジニアであった時に派遣され生産技術を叩き込まれた GM Institute（現ケタリング大学、ミシガン州）の多くの卒業生の参加があり、懐かしくまた感慨深いものがありました。SME および SME 日本支部の関係者の方々に心よりお礼を申し上げます。

さて、近年、IoT 化や AI の活用により、製造業の形態が革命的に変化する時代に突入しようとしております。生産機器そのものの機能向上だけでなく、工作機械、ロボット、センサなど、生産現場の機器がつながり有機的に機能することによって、これまで以上の生産性向上や付加価値の創生を図ることが可能になってまいります。また、さらに、機械学習・深層学習を応用した AI の活用を推進することで、自動的に製造プロセスの変化に気づき、改善を行うことができるようになり、生産現場全体が智能化される時代になっていくことと思います。この 2 つの技術を発展させていくことにより、生産戦略は部分最適から、環境の変化を把握しながらの全体最適に変容していくことが考えられます。生産機器が自律的な改善を行う世界が実現し、つながる、そしてスマートな工場が出現する日も近いのではないのでしょうか。その日を大変楽しみにしております。

ファナックとしても、この 2 つの技術を活用した商品開発に全力を挙げているところです。これからの時代が要求する工場の知能化・ネットワーク化に対応し、世界の製造業に貢献して参りたいと考えております。

このような製造業の変革の中、世界中の先進的な製造技術分野の情報の共有、技術者の交流などの重要性はますます高くなり、SME 日本支部の果たす役割は今後も大きいのではないかと思います。SME 日本支部の更なるご発展を祈念いたしまして、創立 55 周年の記念の寄稿とさせていただきます。

2017 SME International Honor Award を受賞して



花木 義麿
オークマ株式会社
代表取締役社長

この度は SME 日本支部が創立 55 周年を迎えられましたこと誠にありがとうございます。心よりお慶び申し上げます。

この度、2017 年度 SME の International Honor Awards の Eli Whitney Productivity Award の受賞という栄誉を受けることが出来ました。2017 年 4 月 30 日、米国シカゴの Radisson Blu Aqua Hotel Chicago にて授賞式が執り行われ、名誉ある賞をいただく光栄に浴しました。

当社は 1898 年に創業致しまして、2018 年 1 月に創業 120 周年を迎えています。「ないものは創る」の精神で 1963 年に NC 装置を自社開発し、お客様と共に加工現場で様々な課題と向き合う中で、ものづくりの進化に励んで参りました。切り拓いてきましたのは、NC 技術と機械技術が融合した「機電融合」の世界です。Eli Whitney Productivity Award を得る事ができましたのは、まさにお客様から色々な課題を頂いて来たからであり、心より感謝する次第です。

私がアメリカへ初めて渡ったのは 1971 年です。その頃、工作機械の NC 制御の研究・開発に携わっていましたが、当時の NC 装置は勿論のことハードワイヤード方式でありました。そこで、コンピュータ技術により NC 装置の機能・性能を飛躍的に向上させることが出来ると考え、CNC 装置の開発に取り組むことに致しました。コンピュータ技術は私共にとり未踏のものでしたが、先進国のアメリカに行けばなんとかなるだろうと考え、単身で出かけた次第です。ボストンとロサンゼルスに 49 日間滞在し、コンピュータ技術を学び、それと共にアメリカのすごさを知った旅でした。

現在、当社は IoT や知能化技術を活用したスマートマシン、スマートマニュファクチャリング、スマートファクトリーの開発をしております、お客様のものづくりを革新するソリューションの開発に注力して参ります。これからも“最高のものづくりサービス企業”として、世界中のお客様に「ものづくり」の喜びと感動を提供出来るよう全力を挙げて参ります。

SME 日本支部がこれまでの歴史を礎として、益々ご発展されますよう祈念いたします。



2017 SME International Honor Awards 授賞式